

作成日 2026 年 4 月 19 日
(最終更新日 2026 年 6 月 8 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：

「ペメトレキシド投与患者における併用薬と有害事象発現との関連に関する後方視的観察研究」

1. 研究の対象

2007 年 1 月～2027 年 12 月に、当院でペメトレキシドを含む薬物治療を実施された患者さん

2. 研究期間

研究機関の長による研究実施許可後～2028 年 3 月 31 日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2026 年 7 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

ペメトレキシドは、非小細胞肺癌や悪性胸膜中皮腫などの治療に用いられる抗がん薬です。ペメトレキシドは主に尿に含まれて体外へ排泄されますが、同時期に投与される薬の影響でペメトレキシドの尿中排泄に影響を及ぼす可能性がわかってきました。しかし、どの薬が、どの程度、ペメトレキシドと相性が悪いのかは、十分にわかっていません。

そこで本研究では、ペメトレキシドによる治療を受けた患者さんを対象に、治療と同時期に使われていた薬の内容と、副作用の発生状況との関係を調査します。この研究により、ペメトレキシドと相性の悪い薬がわかってくれば、今後の治療をより安全に実施できるようになると考えています。

5. 研究方法

診療録(カルテ)を用いて、患者さんの基本情報(性別、体重、年齢など)、処方された薬の名前および用法・用量、血液検査データ、有害事象の発現状況を含む治療経過を調査します。これらの情報をもとに、同時投与薬とペメトレキシドの副作用の発生状況との関連について検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齢、性別、病歴、薬剤処方歴、血液検査値、副作用の発生状況など

7. 外部への試料・情報の提供

なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反(企業等との利害関係)について

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けただうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 薬剤部 担当 石川来実

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：電話：029-896-7165（平日 9 時～17 時）

当院の研究責任者：筑波大学 医学医療系 臨床薬剤学 教授 本間 真人